

テーマ

2025年度
だいかれん
精神保健
福祉講座④

日本の精神医療における 身体拘束からみる人権状況 ～我々は何をすべきか?～

講師 長谷川利夫 氏

杏林大学 保健学部教授

日本の精神医療での身体拘束は、10年で2倍となり、その後も高止まっています。海外比数百倍の身体拘束が行われ、平均実施時間は、最長の730時間であり、2番目に多いオランダの49倍、最短のニュージーランドの663倍です。身体拘束で命を落とす方も後を絶ちません。身体拘束と人権について共に考えます。

プロフィール

大学卒業後銀行勤務。銀行辞職後医療法人勤務を経て医療福祉学研究科保健学専攻博士後期課程修了

2011年 杏林大学保健学部作業療学科精神障害作業療法学研究室教授
一般社団法人 日本身体拘束研究所 理事長

【著書 論文など】

長谷川利夫, 2013, 『精神科医療の隔離・身体拘束』日本評論社。

◇藤井 克徳・増田 一世・長谷川 利夫, 2014, 『病棟から出て地域で暮らしたい——精神科の「社会的入院」問題を検証する』やどかり出版

2020, 「わが国の精神科医療における身体拘束の問題点」『精神神経学雑誌』122:938-945 など論文多数

【対象者】だいかれん会員・一般市民の方 【会場参加】70名 【ZOOM参加】100名

日時

2025

10/4 (土)

13:30～16:00

(会場参加:13:00開場)

進行によって、終了時刻が前後することがあります

参加方法

資料代
300円

●会場参加

●オンライン (Zoomウェビナー)

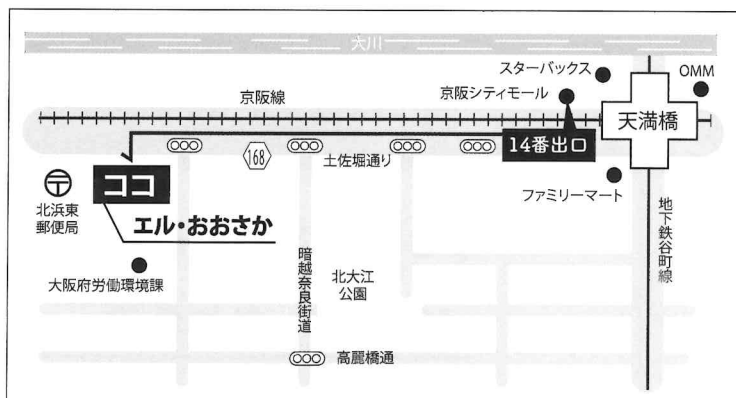
会場

エル・おおさか本館5F 視聴覚室
大阪市中央区北浜東3-14

谷町線 天満橋北改札口→2番出口→14番出口

京阪線 天満橋東改札口→14番出口

駅から徒歩5分・・・→土佐堀通りをまっすぐ西へ300m→三つ目交差点の角



公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会 (大家連:だいかれん)

〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-18 大阪市教育会館 4階

FAX 06-6945-6135

うら面へ

精神保健福祉講座参加申込書

申し込み締め切り 2025年9月26日(金)

会場参加

以下の必要事項を記入のうえこのチラシをFAXで送付してください

FAX 06-6945-6135

お名前

家族会名

ご
連
絡
先

電話番号

FAX 番号

お申し込みをもって受付とさせていただきます。参加票等の発送はいたしません。定員を超える場合は連絡させていただきます。

ZOOM 参加

以下の必要事項を入力の上メールでお申し込みください

daikaren.osaka@gmail.com

10月4日 参加希望

①お名前 ②家族会名



9月27日以降にZoom参加用URLをメールします。

● 朝8時の時点で大阪市に警報が発令された場合は、延期または中止と致します。